



『小樽市の情報をまとめて発信する 「小樽市API」を作りますか?』

国立大学法人小樽商科大学ビジネス創造センター 情報資料部主任
商学部社会情報学科 准教授

木村 泰知

近年、ブログを書く人が増えており、総務省情報通信政策研究所の2008年7月の発表では、その開設数は1,690万件を超えているといわれています。ブログの利点としては、簡単に開設することが可能で、日記の投稿も携帯電話からのメール送信と同様の方法で行えるなどの手軽さがあります。

その中でも、ブログの良いところは、情報をコンピュータが扱いやすい表現にしているところだと思います。みなさんは、ブログサイトで「RSS」や「XML」などの記述を見たことはないでしょうか。「RSS」は、「投稿時間」、「タイトル」、「本文」、「ブログが書かれている場所」などが区別されています。情報が区別されていると、「タイトル」だけの表示や「投稿時間」の取得が容易に行えるのです。

このように情報を整理するしくみが考えられている一方で、ウェブ上には膨大な情報が存在するために、自分の探したい情報を見つけたり、自分が提供したい情報を見つけてもらったり、することが難しい状態になっています。たとえば、「小樽」というキーワードをYahoo!やGoogleなどで検索しても、上位に表示されなければ見られません。そのような状況を利用して、上位にランキングされるページには広告が掲載され、商売も成り立っていますが、小樽市全体のことを考えれば、小樽市の情報を「小樽に興味を持った数多くの人」に提供できれば良いので、もう少し小樽市一丸となった取り組みをした方が良いと思っています。ただ、小樽市は高齢化が進み、ウェブの情報を扱うことが苦手な人も多く存在します。

そこで、その解決方法として、小樽市の住民しかできないことと小樽市の住民以外でもできることを切り分けて、小樽市住民だから持っている情報をまとめて、技術を持っている人に渡して、あとの情報提供は他の人に任せるのが良

いと思っています。

これを実現できるのがAPIだと考えています。APIとは、キーワードなどの情報を入力すれば、必要な情報だけを手に入れることができるしくみです。APIは一般の情報検索とは異なり、ブログの「投稿時間」や「タイトル」のように必要な情報だけを取得できます。公開されているAPIには、hotpepperの店名検索、楽天トラベルの旅行情報検索など数多く提供されています。そして、これらのAPIから取得した情報を組み合わせ、公開している人がいます。さらに、これらのAPIを組み合わせたアイデアを競うMushup Awardというコンテストまで開催されています。

つまり、小樽市としては小樽に関する情報をAPIとして提供し、その情報を利用できる人に任せ、面白い組み合わせや有益な情報へ変えてもらうのが良いと思っています。小樽市の情報をまとめておけば、それを組み合わせる小樽の宣伝をしてくれる人がいるのです。今までは、「情報を提供できる人」、「情報をまとめる人」、「サイトをデザインする人」が一体となっていなければ、ウェブ上に公開することができず、多くの人に見てもらうこともできませんでした。その問題を解決するために、作業を切り分けて、小樽市としては情報を提供するだけで、「提供した情報は自由に利用して下さい」というスタンスであれば、勝手にその情報を組み合わせる人ができます。そのような方法は、先ほど例に挙げた、リクルートや楽天などの企業が実際に行っており、数多くのAPIが提供されています。しかし、市町村や地方自治体としてそのようなAPIを公開しているところは、存在していないようです。そこで、小樽市が初めての市町村APIを作ってみるのも面白いと思っています。できれば、小樽市役所が中心となり、小樽市APIを提供すると、面白いことになると思っていますが、どうでしょうか。